

# 取手市男女共同参画に関する市民意識調査

## 調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対して格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、取手市では、男女共同参画社会の実現を重要課題の一つとして、さまざまな取組を進めています。

本調査は、「第四次取手市男女共同参画計画」策定に当たり、取手市にお住まいの皆様の男女共同参画社会に関する意識やご意見をお聞きし、今後の取組への反映を図るために実施するものです。

調査の実施につきましては、回答は無記名とし、18歳以上の市民の皆様から2,500名を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしています。ご回答いただいた調査内容は統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することはありません。個人にかかわる情報が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、率直なご意見をお聞かせください。

令和2年10月

取手市長 藤井 信吾

## 《ご記入に当たってのお願い》

- 宛名のご本人様がお答えください。(何らかのご事情によりご本人様がお答えできない場合は、ご本人様の代わりに同居のご家族の方がアンケートにお答えいただいても結構です。)
- 当てはまる答えの番号を○で囲んでいただくか、番号、数字を記入してください。設問ごとに(○は1つ)(○は3つまで)など指定されていますので、お間違えのないようお願いいたします。
- 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、**問\*\*で「\*\*」と回答した方**など注意書きをよくお読みください。
- ご記入いただいた調査票(全16ページ)は、令和2年10月31日(土)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

◎本調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

取手市役所 総務部 市民協働課

TEL: 0297-74-2141 (内線: 1172)

FAX: 0297-73-5995

E-mail: [s-shien@city.toride.ibaraki.jp](mailto:s-shien@city.toride.ibaraki.jp)

# 1 あなたのことについて

## 問1 性別をお答えください。(〇は1つ)

1. 男性                      2. 女性                      3. 自由記載 (                      )

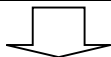
※本調査は、男女共同参画や男女の平等に関する意識などを調査するため、性別をご回答いただいています。選択肢の「3.自由記載 (                      )」は性の多様性を考慮した回答欄です。戸籍上の性別に関係なく、ご自身の主観によりご記入ください。

## 問2 年齢(令和2年10月1日現在)をお答えください。(〇は1つ)

1. 18～19歳                      2. 20～24歳                      3. 25～29歳                      4. 30～34歳  
5. 35～39歳                      6. 40～44歳                      7. 45～49歳                      8. 50～54歳  
9. 55～59歳                      10. 60～64歳                      11. 65～69歳

## 問3 職業をお答えください。(〇は1つ)(2つ以上仕事をお持ちの方は主なものを1つ)

1. 自営業主・会社などの経営者・役員(農業を含む)                      2. 自営業の手伝い・自宅での内職  
3. 正規社員                      4. 契約社員・派遣社員                      5. パート・アルバイト  
6. 家事専業                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他 (                      )



**問3で「3. 正規社員」「4. 契約社員・派遣社員」「5. パート・アルバイト」とお答えいただいた方にうかがいます。**

### 問3-1 1週間で平均的におよそ何時間くらい働いていますか(残業時間も含めます)。(〇は1つ)

1. 20時間未満                      2. 20～30時間未満                      3. 30～40時間未満  
4. 40～50時間未満                      5. 50～60時間未満                      6. 60時間以上

## 問4 現在の世帯構成は、次のどれに当たりますか。(〇は1つ)

1. 1人世帯                      2. 夫婦(事実婚含む)のみの世帯                      3. 親と子ども夫婦(事実婚含む)の世帯  
4. 親と子ども(未婚)の世帯                      5. 親と子どもと孫の世帯                      6. その他

## 問5 あなたの家族に、現在介護や看護を必要とする方はいますか。(〇は1つ)

1. いる → 主な介護・看護者はどなたですか。(介護・看護されている方から見た続柄1つに〇)  

1. 娘(息子の妻)	2. 息子(娘の夫)	3. 妻	4. 夫
5. 孫(女)	6. 孫(男)	7. 母	8. 父
9. その他(                      )			
2. いない

問6 あなた又はあなたの配偶者は、就業調整\*をしていますか。(〇はそれぞれ1つ)

※就業調整とは、本来ならもっと働けるが、税や社会保険料負担などを考慮して、働く時間や年収額を自主的に抑えることをいいます。

	あなた	配偶者
年収が103万円を超えないように働いている	1	1
年収が130万円を超えないように働いている	2	2
就業調整はしておらず、年収が130万円を超えている	3	3
就業調整はしておらず、年収が104～130万円	4	4
就業調整はしておらず、年収が103万円以下	5	5
働いていない	6	6
その他	7	7
	( )	( )
配偶者はいない		8

問7 結婚(事実婚を含む)されていますか。(〇は1つ)

1. 結婚している	2. 離別・死別した	3. 結婚していない
-----------	------------	------------



問7で「1. 結婚している」とお答えいただいた方にかがいます。

問7-1 あなたの配偶者・パートナーの職業はどのような内容ですか。(〇は1つ)(2つ以上仕事をお持ちの方は主なものを1つ)

1. 自営業主・会社などの経営者・役員(農業を含む)	2. 自営業の手伝い・自宅での内職
3. 正規社員	4. 契約社員・派遣社員
5. パート・アルバイト	
6. 家事専業	7. 学生
8. 無職	9. その他( )

問8 子どもの人数について、現実と理想をお答えください。(数字を記入)

現実の人数 (実際にいる人数)	理想の人数 (もちたい人数)
□ 人	□ 人

1人以上と  
お答えの方



子どもの年代(〇はいくつでも)

- |         |                         |        |        |
|---------|-------------------------|--------|--------|
| 1. 3歳未満 | 2. 3歳以上就学前              | 3. 小学生 | 4. 中学生 |
| 5. 高校生  | 6. 大学生、大学院生(短大・専門学校等含む) | 7. 社会人 |        |

問8で実際の子どもの人数が1人以上と回答した方(子どもがいる方)にかがいます。

問8-1 現在のあなたの配偶者・パートナーの働き方と子育ては次のどれに近いですか。(〇は1つ)

1. 仕事を優先	2. どちらかといえば仕事優先	
3. 仕事と育児を同時に重視	4. どちらかといえば育児優先	5. 育児を優先
6. 配偶者・パートナーはいない		

問8で実際の子どもの人数が1人以上と回答した方（子どもがいる方）にうかがいます。

問8-2 あなたと配偶者・パートナーの子育て・家事への関わりは十分だと思いますか。

（①～④について、それぞれ該当する番号に○を1つ）

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	十分でない	配偶者・パートナーはいない
①あなたの子育てへの関わり	1	2	3	4	
②あなたの家事への関わり	1	2	3	4	
③配偶者・パートナーの子育てへの関わり	1	2	3	4	5
④配偶者・パートナーの家事への関わり	1	2	3	4	5

## 2 男女の生き方や家庭生活に関する意識について

問9 結婚や子どもを持つこと、家庭生活等についてどう思いますか。（①～⑩についてそれぞれ該当する「1～5」に○を1つ）

	そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思わない	どちらかといえば そう思わない	わからない
①人は結婚する方がよい	1	2	3	4	5
②結婚は個人の自由であるから結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
③結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
④結婚しても、必ず子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑤結婚しないで子どもを持ってもよい	1	2	3	4	5
⑥結婚して名字（姓）が変わっても、働くときに旧姓を通称として使用してもよい	1	2	3	4	5
⑦男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき	1	2	3	4	5
⑧子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
⑨家事や育児、介護は男女で分担したほうがよい	1	2	3	4	5
⑩話し合いを経たうえで、最終的に子どもの数や出産間隔を決めるのは女性である	1	2	3	4	5

問10 次にあげる分野において、男女の地位はどのようになっていると思いますか。(①～④)についてそれぞれ該当する「1～6」に○を1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②学校教育	1	2	3	4	5	6
③職 場	1	2	3	4	5	6
④社会全体	1	2	3	4	5	6

問11 次にあげる①～③について、あなたはどれくらい時間をかけていますか。平日（月曜日～金曜日）、休日（土曜日、日曜日、祝日）それぞれの1日あたり平均時間をご記入ください。

※時間をかけていない場合は0分としてください。

※次のa～dは①～③に含めないでください。

「a：洗顔・入浴・トイレ・身支度など自分のための時間」、「b：食事・飲食の時間」、「c：家族との団らんやお茶の時間など休養の時間」、「d：ペットの世話」

※シフト制で土日祝日も勤務の方は、平日を勤務日に、休日を休暇日に置き換えて回答してください。

① 家事	家事の時間は	平日	休日
		_____分	_____分
(例)	炊事、食事の後片付け、掃除、洗濯、衣類整理、家計簿の記入、庭の草とり、通勤・通学などの送迎、単身者が行う炊事・掃除・洗濯等、家族の身の回りの世話（ただし、小学校入学前の子どもの身の回りの世話は「②育児」とする。）		

② 育児	1. 育児に該当する子どもはいない		
	2. 育児の時間は	平日	休日
		_____分	_____分
(例)	乳幼児・小学校入学前の子どもの身の回りの世話、子どものつきそい、子どもの勉強相手、子どもの遊び相手		

③ 介護・看護	1. 介護・看護を必要とする家族等はいない		
	2. 介護・看護の時間	平日	休日
		_____分	_____分
(例)	日常生活における家族・親族の入浴・トイレ・移動・食事などの手助け、看病、一時的な病気などで寝ている家族の介護・看護		

### 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問12 あなたの「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」\*の優先度について、現実（現状）に最も近いもの、理想（希望）に最も近いものを選んでください。（現在、仕事をしていない方は今後のお考えをお答えください）（理想と現実それぞれに番号を1つだけ記入）

※用語の意味

- ・「仕事」…自営業主（農林漁業を含む）、家族従業、雇用者として週1時間以上働いていること。常勤、パート、アルバイトなどは問いません。
- ・「家庭生活」…家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護など。
- ・「地域・個人の生活」…地域活動（ボランティア活動、交際・つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど。

	現実	理想
1. 「仕事」に専念	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2. 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先		
3. 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立		
4. 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先		
5. 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念		
6. よくわからない		

問13 2020年版『内閣府男女共同参画白書』では、夫婦共働き世帯が増えているにもかかわらず、家事・子育てにあてる時間が女性は男性の2倍を超えていると報告しています。男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること
2. 男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
4. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
5. 男性の仕事中心の考え方を改めること
6. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間作りをすすめること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと
8. 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること
9. 労働時間短縮や休暇制度の普及
10. 休暇を取りやすい就労環境の整備
11. その他（ <span style="float: right;">）</span>

## 問14 子どもが生まれた時、あなたは育児休業を取得しましたか。(〇は1つ)

1. (子どもがおり) 育児休業を取得した・している
2. (子どもはいるが) 育児休業を取得しなかった・していない
3. (子どもはいるが) 就労していなかった・していない
4. 育児休業を取得せずに退職した
5. 子どもはいない



問14で「2. (子どもはいるが) 育児休業を取得しなかった・していない」とお答えいただいた方  
にうかがいます。

## 問14-1 育児休業を取得しなかった、取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事が忙しかった             | 2. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった |
| 3. 昇給・昇格などが遅れそうだった      | 4. 仕事に復帰するのが難しそうだった     |
| 5. できるだけ早く職場復帰したかった     | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる     |
| 7. 祖父母等の親族にみてもらえた       | 8. 保育所(園)などに預けることができた   |
| 9. 職場に育児休業の制度がなかった      | 10. 有期雇用のため取得要件を満たさなかった |
| 11. 育児休業を知らなかった         | 12. 子育てや家事に専念するために退職した  |
| 13. 配偶者・パートナーが育児休業を取得した |                         |
| 14. 配偶者・パートナーが退職した      |                         |
| 15. 配偶者・パートナーが働いていなかった  | 16. 自営業である              |
| 17. その他( )              |                         |

## 問15 あなたは介護休業を取得したことはありますか。(〇は1つ)

1. 介護休業を取得した・している
2. (介護が必要な家族がいるが) 介護休業を取得しなかった・していない
3. (介護が必要な家族がいるが) 就労していなかった・していない
4. 介護休業を取得せずに退職した
5. 介護が必要な家族はいない



問15で「2. (介護が必要な家族がいるが) 介護休業を取得しなかった・していない」とお答えい  
ただいた方にうかがいます。

## 問15-1 介護休業を取得しなかった、取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事が忙しかった             | 2. 職場に介護休業を取りにくい雰囲気があった |
| 3. 昇給・昇格などが遅れそうだった      | 4. 仕事に復帰するのが難しそうだった     |
| 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる     | 6. ほかの家族や親族に介護をしてもらえた   |
| 7. 介護施設などに入所することができた    | 8. 職場に介護休業の制度がなかった      |
| 9. 有期雇用のため取得要件を満たさなかった  |                         |
| 10. 介護休業を知らなかった         | 11. 介護や家事に専念するために退職した   |
| 12. 配偶者・パートナーが介護休業を取得した | 13. 配偶者・パートナーが退職した      |
| 14. 配偶者・パートナーが働いていなかった  | 15. 自営業である              |
| 16. その他( )              |                         |

問16 女性が結婚・出産や介護などを続けながら働くため、または再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 育児休業・介護休業制度の徹底                              | 2. 家族の理解や協力           |
| 3. 市の保育施設や保育サービスの充実                            | 4. 企業における事業所内の託児施設の整備 |
| 5. 個別の状況に応じた柔軟な勤務形態(労働時間の短縮やフレックスタイム制、在宅勤務)の導入 |                       |
| 6. 技能取得のための研修・講座等の開催                           | 7. 就職情報や紹介等の相談窓口の充実   |
| 8. 在宅ワーク支援のためのセミナー開催や情報提供、相談事業等                |                       |
| 9. その他( )                                      |                       |

問17 育児休業や介護休業は男女ともに取得することができます。そのなかで、国は男性の育児休業取得を推進中で、2020年までに取得率を13%とする目標を掲げていますが、厚生労働省による2019年調査では7.48%とまだ取得が進んでいません。

男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか。(〇は1つ)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 取得したほうがよい       | 2. どちらかという取得したほうがよい  |
| 3. わからない、どちらともいえない | 4. どちらかという取得しないほうがよい |
| 5. 取得しないほうがよい      | 6. その他( )            |

## 4 就業について

問18 あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、またはしたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 専門知識が活かせる          | 2. 性格・能力が適している   |
| 3. 仕事にやりがいがある         | 4. 能力本位で実績が評価される |
| 5. 業種に将来性がある          | 6. 給与の条件が良い      |
| 7. 勤務時間・勤務場所の条件が良い    | 8. 職場の雰囲気が良い     |
| 9. 育児や介護への理解や制度が整っている | 10. その他( )       |
| 11. 特になし              | 12. わからない        |

問19 現在、あなたが実際に就いている仕事は、問18で回答した仕事を選ぶ際の要件(重視すること、したいこと)を満たしていますか。(〇は1つ)

- |           |               |              |
|-----------|---------------|--------------|
| 1. 満たしている | 2. 一部満たしている   | 3. 全く満たしていない |
| 4. 分からない  | 5. 今は仕事をしていない |              |



問20 あなたにとって、仕事をする中で困っていることや大変だと感じていることは何ですか。(〇は  
いくつでも)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 勤務による疲労が大きい      | 2. 通勤時間が長い             |
| 3. 家事をする時間がとれない     | 4. 育児のための時間がとれない       |
| 5. 趣味やレジャーの時間がとれない  | 6. 労働の割に給料が安い          |
| 7. 自分の能力やスキルが不足している | 8. 仕事による充実感・満足感が得られない  |
| 9. 上司・同僚・部下との人間関係   | 10. 職場の雰囲気が悪い          |
| 11. 働く環境が悪い・汚い      | 12. 育児・介護休業等の制度が整っていない |
| 13. 休みがとりにくい        | 14. その他 ( )            |
| 15. 特になし            | 16. わからない              |
| 17. 今は仕事をしていない      |                        |

問21 あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。(〇は1つ)

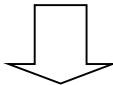
- |       |       |             |
|-------|-------|-------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 働いたことがない |
|-------|-------|-------------|



問21で「1. ある」とお答えいただいた方にかがいます。

問21-1 あなたが最後に仕事を辞めたのはいつですか。(〇は1つ)

- |         |          |          |           |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 1年以内 | 2. 2～4年前 | 3. 5～9年前 | 4. 10年以上前 |
|---------|----------|----------|-----------|



問21で「1. ある」とお答えいただいた方にかがいます。

問21-2 あなたが最後に仕事を辞めた主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1. 他に良い仕事があったため(自営、独立を含む)                 |                           |
| 2. 賃金や待遇などで勤め先や仕事の内容に不満があったため<br>(具体的に: ) |                           |
| 3. 健康上の理由のため                              | 4. 家事や育児に専念するため           |
| 5. 家事や育児との両立が困難であるため                      | 6. 高齢者や病人の介護のため           |
| 7. 経済的に働く必要がなくなったため                       | 8. 勤め先の人間関係のため            |
| 9. 結婚(自主的)のため                             | 10. 勤め先で、結婚・出産退職の慣行があったため |
| 11. 配偶者・パートナーの転勤のため                       | 12. 家族の反対や無理解のため          |
| 13. 倒産したため                                | 14. 解雇された                 |
| 15. その他 ( )                               |                           |

問22 現在、仕事をしている方のみお答えください。あなたの職場では現在、次にあげるような問題がありますか。(〇はいくつでも)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 女性の昇進や昇格が遅い、または望めない   | 2. 同期の男女での賃金・昇格に格差がある    |
| 3. 女性には就けない職種・ポストがある   | 4. 人事異動等で女性には不利がある       |
| 5. 定年に男女差がある   | 6. 女性の結婚退職や出産退職等の慣例がある   |
| 7. 諸手当等に男女差がある   | 8. 一定年齢の女性に対する退職圧力がある    |
| 9. セクハラ <sup>※1</sup> 、パワハラ <sup>※2</sup> 、マタハラ <sup>※3</sup> などのハラスメントがある |                          |
| 10. 男性が育休を取得しづらい   | 11. 長時間労働やサービス残業が常態化している |
| 12. その他 ( )  |                          |
| 13. 特になし   |                          |

※1 セクシャル・ハラスメントとは… 相手の意思に反し不快・不安な状態に追い込む性的な言葉や行為

※2 パワー・ハラスメントとは… 職場内の優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える行為

※3 マタニティ・ハラスメントとは… 妊娠・出産を理由として、精神的・身体的苦痛を与える行為

問23 定年後の人生を豊かに過ごすために、必要・有効だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 健康増進や趣味、学習する場                        |
| 2. 健康増進や趣味、学習する場の情報提供                   |
| 3. 人材バンクなどこれまでの技術・経験を生かせる場やそうした情報を収集する場 |
| 4. 収入の安定のため、70歳定年等の雇用延長制度               |
| 5. 高齢者を対象とした講座やイベント                     |
| 6. 町会・自治会活動                             |
| 7. ボランティア活動など地域に貢献する活動                  |
| 8. 市政等に市民が参加・参画できること                    |
| 9. コミュニティ施設(場)やレクリエーション施設(場)            |
| 10. その他 ( )                             |

## 5 子どもへの男女共同参画教育について

問24 学校教育(小・中学校)の中で男女平等を進めるための取組として、何に力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 性別での役割分担意識の問題を啓発するパンフレットなどを配布する   |
| 2. 男女の平等と相互理解について学習する授業を行う   |
| 3. 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする  |
| 4. 座席、名簿の順番など、男女を分ける慣習をなくす   |
| 5. 性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する  |
| 6. 性的少数者 <sup>*</sup> (性的マイノリティ、LGBT等)について理解を深める機会を設けたり、制服の自由選択や相談室設置などの支援体制を整える |
| 7. 教員自身の男女平等意識を高めるための研修を行う   |
| 8. 女性の校長や教頭を増やす  |
| 9. 性暴力やセクシャル・ハラスメントについて相談できる環境を整備する  |
| 10. その他 ( )  |

※性的少数者(性的マイノリティ、LGBT等)とは…性同一性障害など、「身体の性」と自分が認識する「心の性」が一致しない人や、恋愛感情など性的な意識が同性や両性に向かう人、身体的な性別が不明瞭な人などのこと。

問25 子ども達が性別を意識しない人間関係をつくっていくために、親や大人はどのようなことを心がけるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 子どもとの会話の中で、必要以上に「男らしさ」「女らしさ」を強調しない
2. 遊びの中で、性別等にかかわらず協力する場をつくる
3. 家庭の中で性に対する正しい知識を身につけさせる
4. 地域や家庭の中で、夫婦や男女がお互いを尊重し、協力し合う姿を見せる
5. 進学や就職など将来についての話を子どもと積極的にする
6. 性別等にかかわらず、家事や子育てについての知識を身につけさせる
7. 性差別や暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、SNSやインターネット、ゲームなど)を見せないように気をつける
8. その他( )

## 6 地域活動、防災・避難について

問26 次にあげる地域活動の中であなたが現在参加しているものを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 町内会や自治会等の地域活動
2. 幼稚園や保育園の保護者会、学校のPTA活動
3. 子ども会や青少年スポーツチーム等の指導や世話
4. 趣味やスポーツの活動
5. 地域の仲間同士集まって行う研究会や勉強会
6. ボランティア活動
7. NPO活動
8. 参加している活動はない
9. その他( )

問27 東日本大震災などの教訓から、災害発生に伴う避難や平時の防災体制について男女共同参画の視点を取り入れることが必要だと指摘されています。そのためには、今後の防災や災害復興対策においてどのような施策が必要とだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加を促す
2. 市の防災会議、災害対策本部、防災担当に女性の委員・職員を増やす
3. 避難所運営の際に男女両方のリーダーを配置する
4. 防災や災害現場で活躍する女性(女性消防職員や女性消防団員)を育成する
5. 女性や乳幼児、介護が必要な人、障害者などに配慮した避難所機能を確保しておく
6. 備蓄品について、女性や乳幼児、介護が必要な人、障害者などの視点を取り入れる
7. 男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルを作成する
8. 地域の自主防災活動の運営に女性の積極的な参加を促す
9. 乳幼児教室やPTA活動など女性が多く集まる場で、研修や訓練を実施する
10. 性別や立場によって異なる災害時の備えについて知識を普及する
11. その他( )

## 7 配偶者など\*からの暴力について

※以下の設問にある「配偶者など」には、婚姻届を出していない事実婚、別居中の夫婦、元配偶者、交際相手も含まれます。

問28 配偶者などから次のようなことが行われた場合、あなたが暴力だと感じることをお答えください。(〇はいくつでも)

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 「ばか、役立たず」などと言われる                 | 2. 大声でどなられたり、暴言を吐かれる       |
| 3. 何を言っても無視され続ける                    | 4. 大切にしているものをわざと捨てられる、壊される |
| 5. 外出や人との付き合い(電話やメール含む)を監視したりを制限される |                            |
| 6. 身体を殴られたり、足で蹴られる                  | 7. 嫌がっているのに性的行為を強要される      |
| 8. 生活費を渡さないなどの経済的暴力                 |                            |
| 9. その他( )                           |                            |

問29 あなたに配偶者や恋人がいますか、または過去にいたことがありますか。(〇は1つ)

- |         |          |               |
|---------|----------|---------------|
| 1. 現在いる | 2. 過去にいた | 3. 今までいたことがない |
|---------|----------|---------------|



問29で「1. いる」「2. 過去にいた」とお答えいただいた方にうかがいます。

問29-1 あなたは配偶者(元配偶者も含む)や交際相手等から次のような行為を受けた経験はありますか。(〇はいくつでも)

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 「ばか、役立たず」などと言われた                 | 2. 大声でどなられたり、暴言を吐かれた       |
| 3. 何を言っても無視され続けた                    | 4. 大切にしているものをわざと捨てられた、壊された |
| 5. 外出や人との付き合い(電話やメール含む)を監視したりや制限された |                            |
| 6. 身体を殴られたり、足で蹴られた                  | 7. 嫌がっているのに性的行為を強要された      |
| 8. 生活費を渡さないなどの経済的暴力                 |                            |
| 9. その他( )                           |                            |
| 10. まったくない                          |                            |



問29-1で「1」～「9」のいずれかをお答えいただいた方にうかがいます。

問29-2 あなたの受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇は1つ)

- |         |             |                  |
|---------|-------------|------------------|
| 1. 相談した | 2. 相談できなかった | 3. 相談しようとは思わなかった |
|---------|-------------|------------------|



問29-2で「1. 相談した」とお答えいただいた方にうかがいます。

問29-3 あなたが相談した人（場所）を教えてください。（〇はいくつでも）

- |                        |                          |                    |
|------------------------|--------------------------|--------------------|
| 1. 家族・親せき              | 2. 友人・知人                 | 3. 市の子育て支援課のDV相談窓口 |
| 4. 警察                  | 5. 医師・カウンセラー             |                    |
| 6. 女性相談センター※（茨城県の相談機関） | 7. 女性プラザ（茨城県の男女共同参画センター） |                    |
| 8. 人権擁護委員              | 9. 弁護士                   | 10. 民間の相談機関        |
| 11. SNSやインターネット上の相談サイト |                          |                    |
| 12. その他（               |                          | ）                  |

※茨城県の女性相談センターは「配偶者暴力相談支援センター」の機能も併せもっています。

問29-2で、「2. 相談できなかった」または「3. 相談しようとは思わなかった」とお答えいただいた方にうかがいます。

問29-4 あなたが誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 誰（どこ）に相談してよいのか分からなかったから               |   |
| 2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから                     |   |
| 3. 相談しても無駄だと思ったから                        |   |
| 4. 相談したことが分ると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから |   |
| 5. 自分さえ我慢すれば、このままなんとかやっていくことができると思ったから   |   |
| 6. 世間体が悪いから                              |   |
| 7. 他人を巻き込みたくないから                         |   |
| 8. 思い出したくないから                            |   |
| 9. 自分に悪いところがあると思ったから                     |   |
| 10. 相談するほどのことではないと思ったから                  |   |
| 11. その他（                                 | ） |

問30 配偶者や交際相手等からの暴力の防止や被害者支援のために、どのような対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 家庭内でも暴力は犯罪であるという意識の啓発                     |   |
| 2. いざというときに駆け込める緊急避難場所（シェルター）の整備             |   |
| 3. 住居や就労の斡旋、経済的援助等、自立して生活するための支援策の充実         |   |
| 4. カウンセリングや日常的な相談等、精神的に自律するための支援策の充実         |   |
| 5. 専門相談窓口の設置                                 |   |
| 6. 関係機関の紹介や暴力への対応方法等、配偶者などからの暴力に関する様々な知識の提供  |   |
| 7. 離婚訴訟への支援等、法的サポートの充実                       |   |
| 8. 加害者の更正に関する対応の充実                           |   |
| 9. 学校で児童・生徒に対し暴力を防止するための教育                   |   |
| 10. 加害者への罰則を強化するなど法律等の規制の強化や見直し              |   |
| 11. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、SNSやインターネット、ゲームなど）の規制 |   |
| 12. その他（                                     | ） |

## 8 人権・性的少数者について

問31 最近3年の間に、職場・学校・地域でハラスメントを受けた、または周囲の方が被害を受けたのを見たり、聞いたりしたことがありますか。(①～④についてそれぞれ該当する選択肢に○を1つ)

	あなた自身	あなたの周囲
①セクシャル・ハラスメント※1 被害について	1. 受けたことがある 2. 受けたことはない	1. 見たり、聞いたことがある 2. 見たり、聞いたことはない
②パワー・ハラスメント※2 被害について	1. 受けたことがある 2. 受けたことはない	1. 見たり、聞いたことがある 2. 見たり、聞いたことはない
③マタニティ・ハラスメント※3 被害について	1. 受けたことがある 2. 受けたことはない	1. 見たり、聞いたことがある 2. 見たり、聞いたことはない
④その他のハラスメント 被害について	1. 受けたことがある ( ) 2. 受けたことはない	1. 見たり、聞いたことがある ( ) 2. 見たり、聞いたことはない

※1 セクシャル・ハラスメントとは…相手の意思に反し不快・不安な状態に追い込む性的な言葉や行為

※2 パワー・ハラスメントとは…職場内の優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える行為

※3 マタニティ・ハラスメントとは…妊娠・出産を理由として、精神的・身体的苦痛を与える行為

問32 「性的少数者※(性的マイノリティ、LGBT等)」という言葉を知ったことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、意味も知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 聞いたことはない

※性的少数者(性的マイノリティ、LGBT等)とは…性同一性障害など、「身体の性」と自分が認識する「心の性」が一致しない人や、恋愛感情など性的な意識が同性や両性に向かう人、身体的な性別が不明瞭な人などのこと。

問33 あなたは、「性的少数者(性的マイノリティ、LGBT等)」のことを、自分や自分の周りで関わりのある問題として、意識したり、考えたりしたことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分の問題として、ある
2. 知人のことなど自分の周りで関わりのある問題として、ある
3. ない

問34 「性的少数者(性的マイノリティ、LGBT等)」の人権を守るために、どのような取組が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 行政による市民への正しい理解のための周知啓発活動(講演会や広報紙掲載など)
2. 行政職員や小中高校の教職員に対する正しい理解のための研修の実施
3. 児童・生徒に対する正しい理解のための授業や校内での性的少数者の人権を尊重した学校教育
4. 相談窓口や当事者同士が話せる場所の整備
5. 偏見や差別解消等を目的とする法律や条令等、法的サービスの整備
6. 性的少数者の利用に配慮した環境整備(多目的トイレなど)
7. その他( )
8. わからない

## 9 男女共同参画社会について

問35 以下の言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたものはありますか。(〇はいくつでも)

1. 女子差別撤廃条約（女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約）
2. 男女共同参画社会基本法
3. 男女雇用機会均等法
4. 育児・介護休業法
5. DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）
6. 女性活躍推進法（女性の職業選択における活躍の推進に関する法律）
7. 取手市男女共同参画推進条例
8. 取手市男女共同参画計画
9. 取手市男女共同参画情報紙『風』
10. 茨城県のパートナーシップ宣誓制度
11. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
12. ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）
13. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
14. ダイバーシティ（多様性）
15. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性の自己決定権）
16. 見たり聞いたりしたものはなし

問36 「誰もが自分らしく幸せに暮らせるまち取手」を実現するため、取手市（行政）は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 関係する制度の制定や見直し
2. 女性に不利な慣習の見直しの支援や働きかけ
3. 男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実
4. 男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実
5. 子どものころからの男女共同参画教育
6. 男女が共に働きやすい就業環境の整備
7. 各種保育や子どもクラブ（学童保育）、介護サービスの充実など仕事と家庭生活等の両立支援
8. 審議会など政策や方針決定過程への女性の積極的起用
9. 行政機関・教育機関・企業等における女性管理職の積極的起用
10. 経営者・企業のトップの意識の啓発
11. 男性の意識改革と家事、育児等への参画促進
12. 地域や団体で活躍できる女性リーダーの養成
13. 女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供などの施策の充実
14. ひとり親に対する相談、就業支援などのサポート体制の充実
15. 配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制の充実
16. 農業・商工サービス業の家族従事者の地位向上
17. 健康づくりのための健診体制や相談体制の充実
18. 女性の活躍促進や仕事と子育て等の両立支援に取り組む企業に対する支援
19. 防災や災害復興分野における女性の参画を推進
20. 男女共同参画に関する国際的な交流や情報収集の促進
21. 性的少数者（性的マイノリティ、LGBT等）に対する支援（相談体制の充実、配慮した行政サービスなど）
22. その他（）

最後に、取手市の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
調査票は、同封してある返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。